

ずばり **ここが聞きたい** 村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

南阿蘇村議会9月定例会
一般質問の様子を動画でご覧いただけます。
下記のQRコードをご覧ください。

※動画をご覧になる場合、通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境での視聴を推奨します。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

坂田 正也議員

野焼きの再開支援は

坂田議員

今年は、河陰前川地区の野焼きが実施されていない。人手不足、担い手不足が原因で野焼きが、できなかった。依山トンネル手前の南側斜面の牧野で、景観上も重要な場所であり、来年以降の野焼きの再開に向けて、村として再開の支援に努力が必要である。今後の支援を具体的に問う。

再開に向けて出来る限りの 支援策を行う

村長

南阿蘇村では、熊本地震以降、各地区へ野焼きの再開、及び継続に向けた働きかけを行っている。昨年度は、環境省や熊本県の支援を受けて中松牧野の15haの野焼きを再開することができた。

しかし、各地区でも高齢化と担い手不足は顕著で、将来的な野焼きの継続は厳しい状況にある。

野焼きにより草原を維持する意義は、水源の涵養、炭素の固定、生物の多様性、減災などがある。第9駐在区でも野焼きの必要性は理解しながらも多様な意見の中、苦渋の決断で中止に至ったと聞いている。

前川牧野では、野焼きを継続する上での支障箇所に、令和元年度から継続的に恒久防火帯の整備を行っており、令和4年度からは環境省の牧野カルテ策定事業にも着手している。そして今後の野焼き再開に向けた支援策としては二つあり、恒久防火帯整備の支援と人的支援がある。

恒久防火帯の支援は、環境省と前川牧野組合が令和4年度に策定した「牧野カルテ」に基づき整備が可能である。当初は本年度設計、来年度工事の予定が、野焼きの中止により今は事業がストップしている。また、

熊本県の「草原再生パイロット事業」により防火帯の設置が可能である。村の「農林業土木補助事業」では、1牧野あたり40万円の範囲内で原材料及び機械等の経費に補助があり、ハード面の支援に活用できる。人的支援では、阿蘇グリーンストックによる「野焼き支援ボランティア」があり、輪地切り・野焼き両方の支援が可能である。

今回の前川牧野の野焼き中止について、村内外から多くの問い合わせがあり、村は前川牧野だけでなく、全村的な野焼きの継続も危惧している。

野焼きを再開し、継続していく為に、これまで同様、入会権者・及び牧野組合員等の合意形成が必要不可欠であり、村では出来る限りの支援策を地元にし示しながら、今後も合意形成に向けた働きかけを行っていく。



今回野焼きをされていない依山トンネル入り口付近

坂田議員

前川地区の牧野では、9月後半に輪地切り、輪地焼きを行う予定。その後年内に地区の総会を開き7年度の野焼きについて協議される。その際に、村へお願いして阿蘇グリーンストックによる野焼き支援ボランティアに協力して頂く。今後も草原の維持、また景観上も良くなり野焼きの再開・継続に努力して頂くように、これからも村の協力、支援を強く要望する。